

宮城県林業普及活動情報

2024. 3月号 No. 190

もくじ

各地の林業普及活動情報

P 2 ~ 8

- 「せんなんマルシェin大河原合同庁舎」を開催 (大河原地方振興事務所)
- 森林経営管理制度仙台圏域推進会議を開催 (仙台地方振興事務所)
- 加美町産山菜類の安全・安心な出荷に関する説明会の開催 (北部地方振興事務所)
- 「地上散布から樹幹注入への移行」に向けた事前調査の実施 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- 森林組合地区座談会 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- 森林経営管理制度推進の取組 (東部地方振興事務所)
- 高校生による木育活動への支援 (東部地方振興事務所)
- 病虫害防除の推進に向けて (東部地方振興事務所)
- ニホンジカ食害対策試験地生長状況調査支援 (東部地方振興事務所登米地域事務所)
- 一般社団法人南三陸YES工房が富県宮城グランプリ特別賞を受賞 (気仙沼地方振興事務所)
- 持続可能な森林づくりに向けて、南三陸森林管理協議会とWWFジャパンが日本のFSC認証林推進協定を締結 (気仙沼地方振興事務所)
- 令和6年度宮城県林業研究会連絡協議会第2回役員会の開催(林業技術総合センター)

「せんなんマルシェ in大河原合同庁舎」を 開催

大河原地方振興事務所

【1日(金)】

当所の各部と連携し、仙南地区の農林産物や加工品等を広くPRする販売会を大河原合同庁舎で開催しました。

この販売会は12月に続き、今年度3回目で、今回は、春の「ひなまつり」をテーマに、仙南地域産の農林産物や加工品の販売ほか、地元飲食店等による特色あるメニューが提供され、消費者に向けて仙南地域の魅力を広くPRしました。

特用林産物関係では、毎回好評の原木しいたけのほか、町内の飲食店に、仙南地域の山の幸を使った“かわりごはん”と“おいなりさん”の作製を依頼し、素材としての特用林産物の魅力を伝えただけでなく、炭加工品等の販売を行い、広く山の幸のPRを行いました。

多様な内容で集客効果も上がり、完売する商品も続出したことから、山の幸の魅力を伝えるいい機会となりました。

今後も、仙南の山の幸の販路拡大に向け、関係機関と連携しながら、生産者支援と魅力発信を継続していきたいと思っております。



【マルシェの様子】



【ぎんなん・しいたけなどを使用した商品例】

森林経営管理制度仙台圏域推進会議を開 催

仙台地方振興事務所

【6日(水)】

森林経営管理制度等の管内の取組を推進するため、管内市町村及び市町村サポートセンターを参集した仙台圏域推進会議を開催しました。

会議では、各市町村の取組状況について情報共有を図るとともに、今年度の伴走型支援の取組について実施市村からの意見を含めて説明を行い、来年度からの活用に向けて情報提供を行ったところ、来年度に新たに伴走型支援を受けたいといった要望を頂きました。

また、森林経営管理制度の実施方針についても、県内市町村における策定事例をもとに説明を行い、実施方針の内容や必要性について理解を深め、各市町村で早期の策定を目指すこととなりました。

来年度も各市町村を支援しながら、森林経営管理制度の取組や森林環境譲与税を活用した森林整備等の計画的な実施を推進していきます。



【圏域推進会議】

加美町産山菜類の安全・安心な出荷に関する説明会の開催

北部地方振興事務所

【8日(金)】

加美町において、春の山菜シーズンを前に例年行っている、生産者・採取者に対する町の放射性物質検査体制等の説明を行いました。

依然として放射性物質の影響を受けている山菜類の取り扱いと集荷制限品目等について、これまで同様の説明をし理解を得ました。

会場には、昨年とほぼ同じ38名が来られ、出荷する場合の注意事項（「産地表示」、「野生・栽培の区別」等）をあらためて確認しました。併せて、出荷制限が継続している野生わらびのモニタリング検査用の検体提供を依頼し了解されました。

早期の出荷制限解除が実現できるよう関係者と連携し、必要な助言等を行ってまいります。



【山菜類の取り扱いについて説明】

「地上散布から樹幹注入への移行」に向けた事前調査の実施

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【12日(火)】

栗原市においては、生活環境保全林整備事業等で整備した4地区の地区保全森林約30haの松林を、例年6月に薬剤地上散布事業により防除してきましたが、樹高の伸張や松くい虫被害による広葉樹林化により、費用対効果の低下が懸念されていました。

このことから、守るべき松林の再評価により防除エリアを縮小し、樹幹注入による確実な防除への移行に向け事前調査を行いました。

調査に先立ち、事業費を地上散布の現行予算の範囲内とすることとして樹幹注入対象木の本数を算出したところ、築館地区においては284本の施工が可能であると試算されました。

このことから地上散布を行っていた防除エリアを景観等に配慮しながら縮小し毎木調査により選木した結果、予算範囲内で325本の施工が可能となりました。

このため、令和6年度は地上散布の施工を見合わせ、8月頃に樹幹注入業務の発注を行うこととなりますが、伐倒駆除事業の予算に



【思ったより胸高直径が小さく、樹幹注入対象本数が増えました】

残額が生じれば残る3地区の施工も可能となるなど、防除エリアの縮小と樹幹注入への移行により、確実な防除効果に加え、事業費が約1/5となるなど、大幅な経費縮減にも繋がる見通しとなりました。

森林組合地区座談会

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【13日(水)】

森林組合主催の地区座談会が開催され出席しました。当日は、総代会資料により今年度事業報告及び次年度計画の説明があった後、当事務所から間伐補助事業の概要について説明しました。

参加した組合員(森林所有者)からは、無花粉スギや少花粉スギの生産状況など、森林・林業に対する活発な意見が出されました。

当事務所からも間伐補助事業の概要等について説明し、間伐事業の助成制度や施業集約化の必要性などについて周知を図ることができました。



【座談会の様子】

森林経営管理制度推進の取組

東部地方振興事務所

【15日(金)】

当制度の取組推進等を目的に管内関係者の出席により、圏域推進会議を開催しました。令和5年度の取組では、経営管理権集積計画策定面積35ha、間伐面積26haなど、森林組合への業務委託により着実な進捗が図られている市があるとともに、他2市町では次年度始めにも、同計画が策定公告される予定で、今後も当制度の着実な取組が行われる見通しであることが報告されました。

令和6年度以降も市町への伴走支援などを継続する予定です。



【会議の状況】

高校生による木育活動への支援

東部地方振興事務所

【23日(土)】

石巻高校2年生が実施した木育企画「こけし絵付け体験会」を支援しました。こけし職人の指導のもと、参加した小学生9人が”こけ〜き”（こけしとケーキが合体した、オリジナルこけし）の絵付けに挑戦しました。絵付け体験は非常に好評で、約1時間で個性的な作品に仕上げていました。また、その後は当所からは、「木にかかわる仕事を知ろう！」と題し、石巻地域の森林・林業の説明を行いました。

こうした企画により、地域の木工芸に触れ合うことは、ふだんわからない木や森について、子どもたちに知ってもらい良い機会となることを実感しました。今後も関係者との連携を大切にし、木育の輪を広げて行きたいと考えます。



【”こけ〜き”完成品】 

病虫害防除の推進に向けて

東部地方振興事務所

【27日(水)】

石巻地域の関係者で組織する石巻地方松くい虫防除推進会により「松くい虫防除事業に関する研修会」が開催されました。

まず、現地研修では、新たな薬剤防除の試行地を視察し、効果的な結果が出ていることが確認されました。次の座学研修では、普及指導員が講師となり、松くい虫やナラ枯れ及び外来カミキリ被害・防除の等について説明を行うとともに、出席している関係者と意見交換を行いました。

管内では終息が見えない松くい虫防除業務が続いていますが、今後も地域関係者が連携し、情報共有を図りながら一体となって取り組んでいくことを確認しました。



【座学研修状況】

ニホンジカ食害対策試験地生長状況調査支援

東部地方振興事務所登米地域事務所

【18日(月)】

登米管内で増加が懸念されるニホンジカによる食害の防止対策について、登米市森林管理協議会が令和2年度から令和4年度にかけて調査区を設置し、植栽木の生長状況や資材の破損状況、下刈り省略の可能性等を調査しました。

単木食害防止資材を設置した調査区のうち、下刈りを実施した区域と省略した区域の植栽木と資材に関する項目を調査しました。植栽木については両調査区ともに枯死木は少なく、下刈りを省略できる可能性が示唆されました。苗木の生長具合については今後、調査する予定です。



【下刈りを省略した調査区の様子】



一般社団法人南三陸YES工房が富県宮城グランプリ特別賞を受賞

気仙沼地方振興事務所

【12日(火)】

当事務所で推薦しました、一般社団法人南三陸YES工房（以下「YES工房」）が、第12回「富県宮城グランプリ」特別賞を受賞されました。

YES工房の設立は、震災後に地域住民の雇用創出と交流の場づくりを目指し立ち上げられた工房です。

主力商品の「オクトパス君」は企業とのコラボ企画等も多く実現しているほか、南三陸杉を活用した木製品やまゆ細工の製作・販売を主に行っており、地域のものづくり産業の規範となっています。

その他にも、教育機関等を対象としたモノづくりワークショップの積極的な展開などが、町の知名度アップや観光面に貢献していることが評価され、今回、特別賞の受賞となっております。

なお、将来的には同賞グランプリ受賞を目指してもらえるよう、当事務所としても継続した支援を行ってまいります。



【受賞式】



【当事務所への受賞挨拶】

持続可能な森林づくりに向けて、南三陸森林管理協議会とWWFジャパンが日本のF S C認証林推進協定を締結

気仙沼地方振興事務所

【27日（水）】

南三陸町のF S C認証林の管理強化や認証林拡大を通じて、持続可能な森林づくりを推進し、森林管理の現場でネイチャーポジティブを体現することを目的に、南三陸森林管理協議会とWWFジャパンが「日本のF S C認証林推進協定」を締結しました。

今後は、WWFジャパンが、町内の認証林の拡大や普及に向けた活動を支援するとともに、協定のモデルケースとしてPRに努めます。

また、当日は南三陸F S C親善大使を担う南三陸高校の生徒の任命式も併せて行われました。

当事務所としても、F S C認証林拡大と知名度アップに向けて、各関係機関と連携し、南三陸森林管理協議会への支援を引き続き行ってまいります。



【日本のF S C認証林推進協定締結】



【南三陸F S C親善大使任命】

令和6年度宮城県林業研究会連絡協議会第2回役員会の開催

林業技術総合センター

【9日(土)】

富谷市の富谷宿観光交流ステーション「とみやど」において、宮城県林業研究会連絡協議会が、役員会を開催しました。

役員会では、令和5年8月29日(木)・30日(金)に開催される予定の北海道・東北ブロック林業グループコンクールの行程表・進行要領・役割分担・配付資料ほかの最終確認が行われました。

今後は、現地視察地の避難経路の確認などを行う予定となっています。

森林・林業の推進と林業後継者の育成に向けた係る行事の成功を県も支援しています。

(催行予定)

29日(木) コンクール、講演会(歌とお話)、
会長会議及び意見交換会(仙台市)

30日(金) 現地視察(仙台藩の林政及び島嶼
の自然植生)(松島町)



【令和6年度第2回役員会の様子】